

Exlus R Establishing Amoxicillin Allergy in Children through direct graded oral challenge JACIP 2021 9 4060-6

段階的経口チャレンジ（GOC）による小児のアモキシシリンアレルギーの確立：負荷試験陽性、安全性、およびセファロスポリンとの交差反応危険因子の評価

背景：アモキシシリンアレルギーが疑われる小児において皮膚検査をしないで直接経口負荷試験の診断に関するデータは少ない。

目的：経口負荷試験の評価

方法：コホート研究は、2013年3月から2020年3月の間に、MontrealとWinnipegで実施された。アモキシシリンに対する軽症の副反応が見られた病歴（すなわち、粘膜病変および小水胞のない皮膚に限定された病変）にて紹介されたすべての小児を対象とし、2段階の**段階的経口負荷試験**を実施した*。人口統計学的特性、臨床的特性、および併存疾患についてのデータが収集された。これらに適合した小児を追跡して、その後のアモキシシリン使用に対する反応を評価し、段階的経口負荷試験陽性小児におけるセファレキシリン使用の安全性について評価した。

*アレルギー検査参加者には、体重調整治療用量の10%投与後20分間の観察、その後体重調整治療用量の90%投与後1時間の追加観察を伴う2段階の非盲検GOCを施行した。アモキシシリンとセファレキシリンの用量は500mgから最大1.5gの範囲であった。

結果：**対象となった1914人の子供のうち、1811人（94.6%）は段階的経口負荷試験が陰性で、42人（2.2%）は軽度の即時反応を示し、61人（3.2%）は軽度の非即時反応を示した。段階的経口負荷試験が陰性であったのでアモキシシリンを再投与した265人の参加者のうち、226人（85.3%）が耐性であったと報告し、しかし39人（14.7%）が軽度の皮膚反応を示した。慢性蕁麻疹の既往（調整オッズ比[aOR]、1.16; 95%CI、1.09-1.23）および曝露から5分以内に発生する反応指数*（aOR、1.09; 95%CI、1.04-1.14）は、段階的経口チャレンジにおける即時反応と関連した。7日より長く続く症状（aOR、1.05; 95%CI、1.02-1.09）および親の薬物過敏症（aOR、1.04; 95%CI、1.03-1.06）は、非即時反応と関連していた。反応指数が7日以上続いた患者は、症状が7日以下続いた患者と比較して、その後の反応を起こす可能性が高かった（aOR=1.28; 95%CI、1.12-1.46; P<.001）。**段階的経口チャレンジに反応する人のうち、12.5%がセファレキシリン負荷試験に対する軽度の皮膚反応と反応した。****

結論：段階的経口チャレンジは、アモキシシリンに対する軽度な副反応がある小児で真の過敏症を確立するための正確で安全な方法である。

*反応指数とは、臨床的特徴、併存疾患（アトピーの病歴および定期的かつ抗生物質治療に関連する薬物療法の使用を含む）、疑わしい抗生物質曝露、および反応の管理について標準化された質問票を通じて適及的に特徴付けられること。

考察：アモキシシリン薬剤アレルギーの疑わしい反応と真の反応の有病率の乖離は、ウイルス誘発性の蕁麻疹と発疹の遅延が原因である可能性があり、どちらもアレルギー反応と誤って分類されることがよくある。

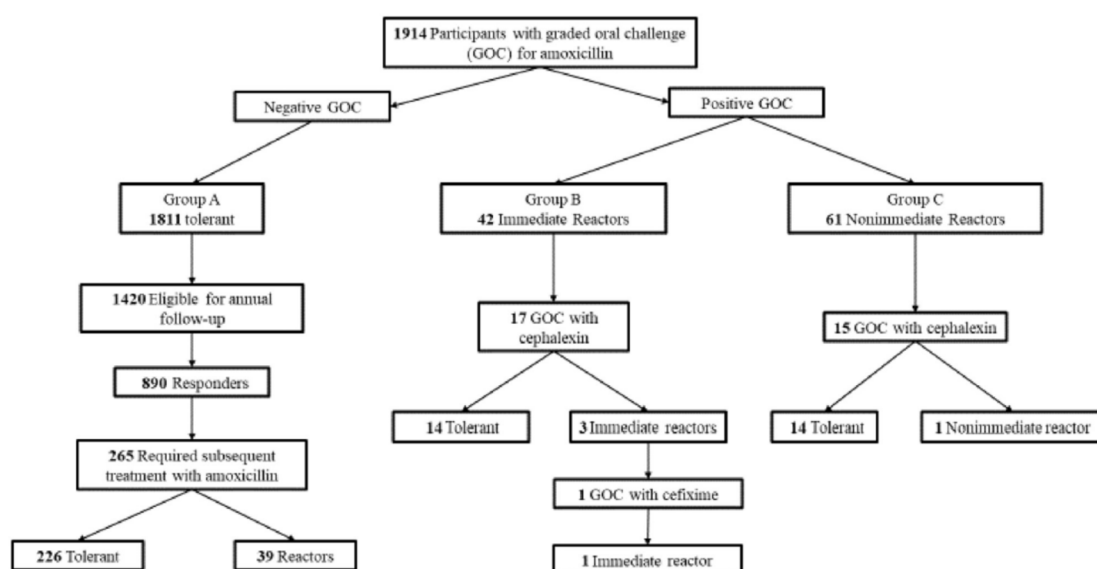
交差反応性は、異なる側鎖を持つセファロスポリンとペニシリンで2%未満であると報告されている。実際、著者たちのグループによる以前の研究では、セフィキシム（アモキシシリンと同様のR1鎖を共有しない）はアモキシシリンに対して陽性のGOCを伴うすべての患者において耐性であった。

このトピックについてすでに何がわかっているか？ 小児における真のアモキシシリンアレルギーの診断は困難であり、以前の研究では、感度が低く、偽陽性の皮膚検査結果の割合が高いことが示唆されている。

この論文は私たちの知識に何を追加しますか？ 著者らの研究は、アモキシシリン治療中に発生した皮膚の非小胞性発疹が見られた小児におけるアモキシシリンアレルギーを診断するために、皮膚検査をしないで直接段階的経口チャレンジを正確かつ安全にできることを確立する。

この研究は現在の管理ガイドラインにどのように影響するか？ アモキシシリン治療の過程で軽度の皮膚発疹がみられた小児では、直接チャレンジが適切な確認テストである。セファレキシン誘発反応は、アモキシシリンアレルギーが確認された子供の10%強で発生する可能性がある。ただし、反応は軽度で、皮膚に限定される。

アモキシシリンとセファレキシンの段階的経口負荷試験参加者フローチャート



この図は、段階的経口負荷試験に対する反応と、その後のアモキシシリンまたは他のセファロスポリンに対する反応に基づいて、参加者をグループに分類したものを示す。